

平成30年度下半期ジェネリック医薬品流通実態調査の結果について

1 内容

平成30年度下半期（10月～3月分）に、福岡県内の医療機関及び保険薬局に販売されたジェネリック医薬品等の流通実態（市場シェア）について調査したもの

2 調査対象

- 福岡県医薬品卸業協会（6社）
- 福岡県ジェネリック医薬品販社協会（7社）
- 直販メーカー等（2社）
- その他

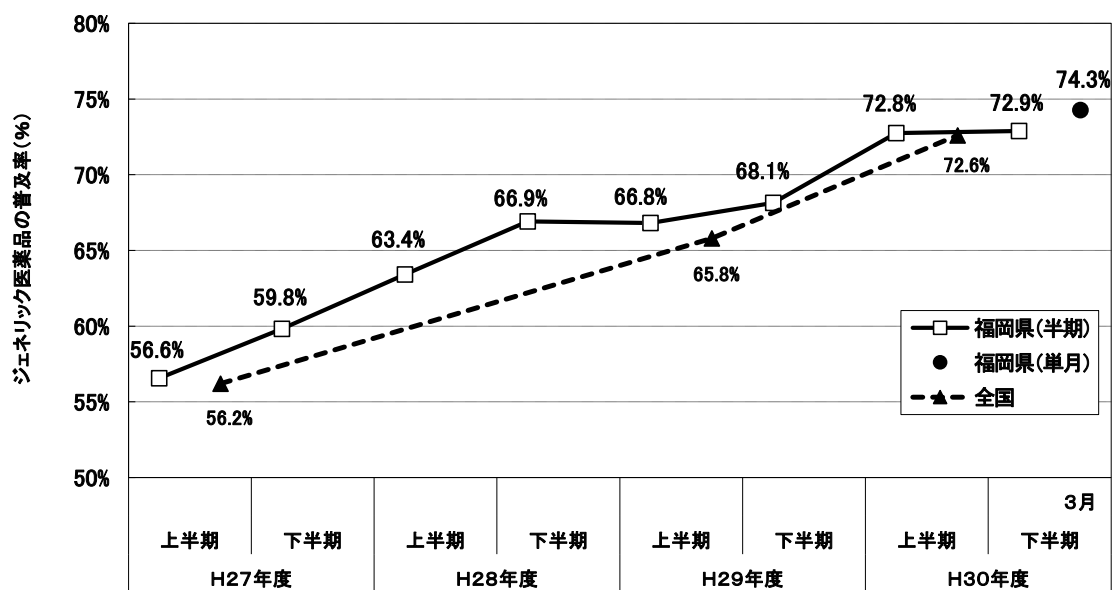
3 調査方法

厚生労働省の方法に準ずる

- 「ジェネリック医薬品のない先発医薬品（新薬）」、「ジェネリック医薬品のある先発医薬品」、「その他の医薬品（局方品、漢方エキス剤等）」、「ジェネリック医薬品」で区分（新指標での普及率を算出するため平成27年度調査より区分を変更）
- 数量：最小数量（1錠、1カプセル、1筒、1本等）を1単位として集計
- 金額：薬価で集計

4 結果

○ ジェネリック医薬品普及率（新指標、数量シェア）の推移（グラフ）



※ 全国は各年度9月分のみデータ

○ 福岡県のジェネリック医薬品普及率（旧指標、数量シェア）

数量シェア (旧指標)	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
後発医薬品	24.9%		28.6%		32.0%		31.6%		32.6%		31.8%		35.4%		37.6%		40.3%		43.4%		47.7%	
	23.7%	26.8%	27.6%	29.6%	32.5%	31.5%	30.5%	32.7%	34.6%	30.6%	31.5%	32.1%	34.8%	36.0%	37.2%	38.0%	40.0%	40.5%	43.2%	43.7%	48.0%	47.4%
内用薬	25.5%		29.6%		32.8%		32.8%		33.9%		32.7%		36.3%		38.5%		41.1%		44.4%		48.7%	
	24.1%	27.6%	28.6%	30.5%	33.1%	32.6%	31.6%	33.9%	36.0%	31.6%	32.5%	32.9%	35.6%	36.9%	38.2%	38.8%	40.8%	41.3%	43.9%	44.9%	49.2%	48.2%
注射薬	26.2%		30.8%		32.7%		33.3%		32.6%		30.5%		32.7%		34.8%		35.9%		28.3%		40.1%	
	25.1%	27.3%	29.2%	32.4%	32.5%	33.0%	32.5%	34.2%	33.7%	31.4%	31.0%	30.0%	32.9%	32.4%	33.9%	35.8%	35.7%	36.1%	36.7%	24.8%	39.9%	40.2%
外用薬	20.7%		22.2%		25.6%		23.3%		24.0%		25.5%		29.3%		31.5%		35.2%		38.6%		41.0%	
	20.6%	21.0%	21.0%	23.4%	27.9%	23.6%	23.0%	23.7%	24.3%	23.8%	24.7%	26.3%	28.9%	29.8%	30.8%	32.2%	34.8%	35.5%	38.4%	38.9%	40.1%	41.8%
先発医薬品等	75.1%		71.4%		68.0%		68.4%		67.4%		68.2%		64.6%		62.4%		59.7%		56.6%		52.3%	
	76.3%	73.2%	72.4%	70.4%	67.5%	68.5%	69.5%	67.3%	65.4%	69.4%	68.5%	67.9%	65.2%	64.0%	62.8%	62.0%	60.0%	59.5%	56.8%	56.3%	52.0%	52.6%

○ 福岡県のジェネリック医薬品普及率（新指標、数量シェア）

数量シェア (新指標)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
後発医薬品	58.2%		65.1%		67.5%		72.8%	
	56.6%	59.8%	63.4%	66.9%	66.8%	68.1%	72.8%	72.9%
内用薬	60.5%		67.9%		69.8%		75.8%	
	58.9%	62.2%	66.4%	69.5%	69.4%	70.2%	75.8%	75.8%
注射薬	64.9%		73.8%		74.5%		77.3%	
	63.5%	66.4%	72.1%	75.6%	75.3%	74.1%	77.0%	77.6%
外用薬	42.8%		47.9%		52.7%		54.2%	
	41.5%	44.3%	45.1%	50.8%	50.6%	54.6%	52.9%	55.4%
先発医薬品	41.8%		34.9%		32.5%		27.2%	
	43.4%	40.2%	36.6%	33.1%	33.2%	31.9%	27.2%	27.1%

○ 参考：全国のジェネリック医薬品普及率（数量シェア）

※厚生労働省調べ

	数量	
	旧指標	新指標
H19.9	18.7%	34.9%
H21.9	20.2%	35.8%
H23.9	22.8%	39.9%
H25.9	27.6%	46.2%
H27.9	33.5%	56.2%
H29.9	40.2%	65.8%

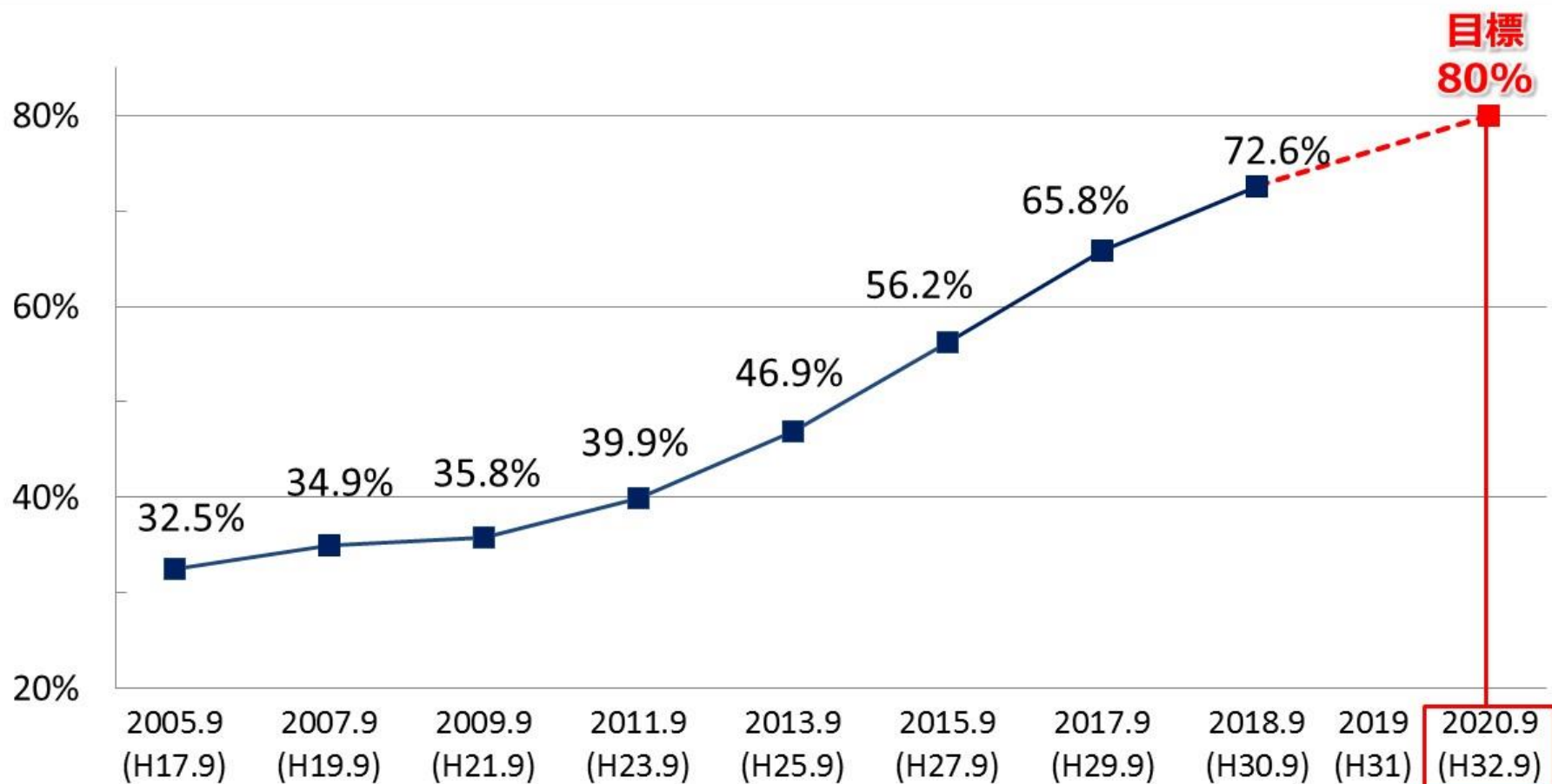
※旧指標：「全医薬品」に対する「ジェネリック医薬品」の割合

※新指標：「ジェネリック医薬品のある先発医薬品」と「ジェネリック医薬品」の合計

後発医薬品の使用割合の推移と目標

「経済財政運営と改革の基本方針2017」（平成29年6月9日閣議決定）（抄）

⑦薬価制度の抜本改革、患者本位の医薬分業の実現に向けた調剤報酬の見直し、薬剤の適正使用等
2020年（平成32年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。



注) 「使用割合」とは、後発医薬品のある先発医薬品]及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の使用割合をいう。